

いわき農林事務所ニュース

2008年 1月号

活動状況

- ・ [平成19年度ステップアップ講座開催](#)
- ・ [渡辺小学校の「田んぼの学校」\(収穫祭・修了式\)](#)
- ・ [「緑の応援隊」第2回を開催](#)
- ・ [いわき地方農林業原油価格高騰対策会議開催](#)

トピックス

- ・ [県立いわき養護学校で食に関する交流会開催](#)
- ・ [流域林業活性化セミナー開催](#)



活動状況

平成19年度ステップアップ講座開催

全4回を予定している「経営セミナー」の「第1回初級編」を12月4日(火)に開催しました。農業者や関係機関の職員等24名の参加がありました。経営管理、農業簿記の基礎について学習したあと、開始記帳として期首貸借対照表作成の実習を行いました。日頃収支記帳は行っているようですが、貸借対照表を作成したのは、はじめての受講生が多く、固定資産や棚卸資産の計算などに意欲的に取り組んでいました。

「第2回記帳編」は12月18日(火)に開催しました。第1回に引き続き22名の参加がありました。初心者向けの簡単な記帳の方法として、単式簿記による収支記帳の実習を行いました。日常取引の仕訳と決算修正の仕方を学んだあと、決算書を作成しました。いずれの出席者もよく理解できた様子で、自分の経営の記帳やその指導にも活かされるものと思われます。複式簿記へのステップアップも期待されました。

さらに、この回では、先進的な取り組みの紹介として、南相馬市小高区で酪農を営んでいる方を招き、ディスカッション形式でお話を伺い、意見交換を行いました。地域の仲間数人で記帳に取り組み始めたこと、パソコンを活用した記帳やそのデータを経営の向上に役立てていることを聞いて、参加者は記帳や経営管理をより身近に感じる事ができたようです。

これらの講座で学習したことを、次は参加者自らが経営の向上や農業者への支援に役立てていただけるものと期待しています。



第2回ディスカッション

渡辺小学校の「田んぼの学校」(収穫祭・修了式)

田んぼの学校の活動として、12月6日(木)に渡辺公民館で「収穫祭」及び「修了式」を実施しました。

「収穫祭」では、最初に5年生18名全員が杵と臼を使用して、自分たちが収穫したもち米(まんげつ)の餅つきを体験し、さらにお世話になった方々への進呈用としてまるめ餅を作りました。

次に、保護者の方々などに下準備していただいた「雑煮」「あんこ餅」「納豆餅」「大根餅」「きなこ餅」「じゅうねん(エゴマ)餅」の各料理を仕上げ、他学年生や教職員、地元応援団の方々などにふるまいました。

今回の活動では、「地産地消」について理解を深めることを目的としたため、地元渡辺町を始めいわき市内で収穫された農産物を中心に食材として選び、それぞれの餅料理を調理しました。当農林事務所職員が、食材の産地を紹介し、さらに「地産地消」で旬のものを味わうことができること、消費者と生産者のコミュニケーションが生まれること、さらに地域の農業、関連産業の活性化に役立つこと等の利点について説明しました。

「修了式」では、5年生全員に修了証書が授与された後、地元応援団の方々に児童達が手作りの感謝状を手渡しました。

今回の活動で、児童達の収穫やお世話になった方々に対する感謝の念や食と農に関する理解が深まることを期待しています。

今回で、当農林事務所が3年間実施してきた渡辺小学校における「うつくしま田んぼの体験学習支援事業」の活動が終了しました。応援していただいた渡辺町の農家の方々並びに渡辺小学校、渡辺公民館等関係者の方々に深く感謝申し上げます。



餅つきの様子

前号でも第1回の活動を報告した「緑の応援隊」ですが、12月8日(土)に第2回の活動を実施しました。第1回よりも多くの方に参加いただき、指導者やスタッフを含め総勢41名での活動となりました。

この日は前回に比べると少し寒さが感じられましたが、風もなく穏やかな天気で絶好の活動日和でした。そのためか、予定よりも林地残材の搬出作業が早く進み、急きょ隣接区域の搬出も行いました。活動を実施しなければ朽ちていくだけとなっていた間伐材を搬出することができ、未利用材の利用促進を図ることができました。

搬出作業の間には、(株)遠野興産が今年度から全国木材組合連合会の事業として取り組んでいる『新搬出システム』のスカイウッドシューターを使った搬出作業を見学しました。事業化に向けての可能性調査とのことですが、確立されれば作業車が入りにくい間伐林地での材の搬出に大いに役立つものと期待されます。

昼食は、今回も入遠野婦人会の協力により、地元の野菜をふんだんに使ったおいしい豚汁を提供することができ、その暖かさが疲れた体にじんわりと染みわたりました。

午後は、三和町の林道上市萱馬場平線の沿線で行われていた林業機械(フォワーダー、グラップル)を使った搬出作業現場を見学し、今回の活動は終了しました。



スカイウッドシューター



運材中のフォワーダー(左)とグラップル

いわき地方農林業原油価格高騰対策会議が開催されました

12月21日(金)、県いわき合同庁舎会議室において、いわき地方農林業原油価格高騰対策会議が開催されました。

本会議は最近の原油価格、石油製品の高騰状況を踏まえ、いわき地方における農林業の関係団体等が、現在の動向や今後の対策を講じる上での情報交換の場として、開催されました。

はじめに、いわき農林事務所本田所長の挨拶の後、県内農林業への影響や県の対応について説明がありました。

続いて、東北農政局福島農政事務所の高橋地域第三課長から国の対応状況について説明がありました。

質疑応答では「対策に苦慮している、今後の需要動向が心配だ。」等との声が聞かれ、各団体毎の具体的な対応状況について、意見交換がなされました。

原油価格の推移については、今後とも予断を許さない状況が続きそうです。

・いわき市の対応状況はこちらをご覧ください。

(いわき市ホームページ)

<http://www.city.iwaki.fukushima.jp>

・福島県の対応状況はこちらをご覧ください。

(福島県ホームページ)

<http://www.pref.fukushima.jp/syoko/hpgenyu/genyu.html>



会議の様子

トピックス

県立いわき養護学校で食に関する交流会が開催されました

県立いわき養護学校と「うつくしま『食』『農』サポーター」である“ふだん着のフランス料理 K i t a o”の北尾博水氏による食に関する交流会が、12月18日(火)に県立いわき養護学校において開催されました。

食に関する交流会は、県立いわき養護学校の中学部3年生が、食べ物に関係する仕事をしている方々との交流を通して、食について関心をもち、働くということについて理解を深めるために、北尾氏の協力のもと行っている授業です。今回は、ケーキ作りを通して、自分達で作る楽しさだけでなく、他の人に食べてもらう喜びも味わおうというものでした。

生徒達と北尾氏を含めた協力団体の方々が一緒になってケーキ作り(主にホイップとイチゴの飾り付け)を行いました。あえて先生方や保護者は別テーブルで調理を行い、生徒達は初めて会った方達と調理を行っていました。当農林事務所からも2名が参加し、生徒達と一緒にケーキ作りを行いました。

授業の最後には、作ったケーキの感想をお互いに述べ合い、みんなで試食を行いました。

なお、今回使用したイチゴは、JAいわき市のイチゴ部会から提供されたもので、朝取りの香りのとても良い大粒なイチゴで、生徒達も大変喜んでおりました。



完成したケーキ

流域林業活性化セミナーが開催されました

12月25日(火)、磐城流域林業活性化センター・磐城森林管理署主催による「流域林業活性化セミナー」がいわき市内郷の報徳苑で開催されました。

今回のセミナーは、森林GIS活用による森林の適正な管理や素材生産の推進について理解を深めることを目的に実施され、(独)森林総合研究所松本光朗氏が講師を務め、「森林GISの活用方法と福島県の展望」と題して講演されました。

松本氏は、現在福島県の森林GIS開発に携わっており、講演では、福島県の森林GISの開発状況を紹介するとともに、他県で実際に利用されている森林GISを使った実演を交え、その活用の可能性についてわかりやすく説明いただきました。会場には林業関係者や県、市町村の林務担当職員など約45人が聴講に訪れ、県の森林GISにおいて整備される森林情報についての質問が出されるなど、実りあるセミナーとなりました。



熱心に聴講する参加者ら

森林GIS：GISとは地理情報システムといい、(Geographic Information System)の略です。GIS技術の特徴は、コンピュータで表示可能な地図等に数値などのデータを重ね合わせて視覚的に表示し、検索・集計・加工等ができることです。この技術を森林の管理に利用するため、森林・林業用に設計されたGISを「森林GIS」といいます。

◀ もどる

すすむ ▶

[[Top](#) [福島県トップページ](#) [いわき農林トップページ](#)]